

しずくしい 議会だより

●今号の主な内容

6月定例議会のあらまし…2～5

常任委員会の活動報告…14～15

町の考えをただす

一般質問 7議員が登壇…6～12

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り(36)…18～19

●平成21年7月9日発行

発行／雫石町議会

〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1

電話 019-692-2111 ファックス 019-692-2828

ホームページアドレス <http://www.town.shizukuishiiwate.jp/>

編集／議会広報編集特別委員会

No.70



6月定例会のあらまし



一般質問に7人が登壇し議論が交わされた6月定例会

総額9,416万1千円の 一般会計補正予算を可決

平成21年第5回定例会は、6月5日から11日まで7日間の会期で行われました。

本定例会では、一般会計および雫石診療所特別会計継続費繰越計算書、ならびに一般会計および後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告案件が4件ありました。

また、議案として、条例案件が2件、補正予算案件が3件、議決を要する案件1件が提案されました。計6件の案件はすべて原案どおり可決されましたが、一般会計補正予算に盛り込まれた鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金や旧落葉果樹農業研修所跡地取得計画関連予算については多くの議論がなされました。

一般質問は、2日間にわたり7人が登壇し、町財政や経済対策、地域振興、人材育成、汚水処理対策など16項目にわたり町当局の考えをたどりました。

請願1件については、採択とし、請願を受けての意見書の提出を発議したほか、肺炎球菌ワクチン公費助成についての陳情は閉会中の継続審査としました。

■条例

○雫石町地域医療協議会条例の制定（全会一致で可決）

町立健康センター（仮称）の整備に伴い、雫石診療所を中心とした保健、医療、福祉の連携と地域医療の向上を目指し、その対策について協議検討するため、協議会を設置しようとするもの。

なお、この条例制定に伴い雫石町診療施設運営協議会条例は所掌事項が包含されることから廃止となった。



建設が進む町立健康センター（仮称）

○雫石町地域包括支援センター運営協議会設置条例の一部改正（全会一致で可決）

介護保険法第115条の39の規定が第115条の45に移ったことから、この規定を引用していた条例を一部改正（第115条の39を第115条の45に変更）するもの。

■補正予算

○一般会計補正予算（第1号）（賛成多数で可決）

補正前の額	補正額	計
75億5,500万円	9,416万1千円	76億4,916万1千円
▶不動産鑑定委託料	114万1千円	
▶過年度過誤納付金還付金	1,300万4千円	
▶まちおこしセンター（仮称）改修工事	2,251万6千円	
▶鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金	920万円	
▶鶯宿温泉分湯槽改修工事費負担金	686万7千円	
▶地域公民館整備事業費補助金	667万4千円	
▶道路災害復旧工事（南昌道路）	600万円	

○下水道事業特別会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

補正前の額	補正額	計
11億1,811万9千円	128万2千円	11億1,940万1千円
▶低地対策ポンプ施設設置工事費補助金	128万2千円	

○介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）（全会一致で可決）

補正前の額	補正額	計
11億2,205万5千円	426万6千円	11億2,632万1千円
▶地域介護・福祉空間整備等事業費補助金	426万6千円	

補正予算の主な質疑

問 鶯宿温泉分湯槽改修工事費負担金686万7千円の負担の根拠は何か。

答 鶯宿温泉開発株式会社が温泉供給する分湯槽の改修工事費が1,774万5千円かかるということで補助金を要望されていたが、町としては、保有する株主割合の38.7%分を負担しようとするものである。

問 鶯宿温泉開発株式会社運営費補助金920万円の補助の根拠は何か。

答 改修工事費の全額が補助されなければ温泉使用料金の値上げにより整備せざるを得ないということなので、現下の厳しい経済情勢の中で、旅館、ホテルの営業への悪影響を危惧し、緊急に対応する必要があると考え、負担金とは別に会社経営の中で対応してもらうとの考えで積算したものである。

問 筆頭株主である町は、会社の経営状況をどう把握しているのか。

答 平成20年次の温泉利用料収入は3,841万1,238円で、一般管理費は3,548万4,530円、純利益は160万294円となっている。施設の状況などを含む会社の実態把握は十分でなかった。

問 会社経営に補助金を出すのであれば経営改善計画を提出させるなり、経営指導を行うべきではないか。

答 今回は温泉利用料金を値上げさせないため、緊急に対応せざるを得なかったが、今後は経営改善を含めながら対応していきたい。この補正予算の議決をいただき、補助金を支出する際には経営改善計画の提出を求めたいと思っている。



老朽化した分湯槽を調査する議員

問 過年度過誤納付金還付金が1,300万4千円と多額になっている理由は何か。

答 平成20年度において中間申告した企業のうち、高額の予定納税をしていただいている2社が3月決算で収益が落ち込んだことから、確定申告により還付の請求があった分である。

問 不動産鑑定委託料114万1千円が計上されているが、どこの不動産を鑑定するものか。

答 旧落葉果樹農業研修所の土地と建物の取得に係る不動産鑑定である。土地は14万1,132㎡、建物は本館、果実収納舎、低温貯蔵庫等である。

問 取得するのであれば取得後の活用計画が必要ではないか。

答 国の方からの申し出で、何とか公的なもので使っていただけないかとの話があり、いろいろ検討した結果、これから資源循環型農業を展開していくための実験圃場^{ほじょう}など試験地のような形で活用する構想をたて、関係機関と調整中である。



土地・建物取得が計画されている旧落葉果樹農業研修所

人事

農業委員の改選に伴い、議会推薦の農業委員3名が新たに決まりました。



ささだ みえこ 氏
(七区行政区)



ささき ひでこ 氏
(谷地行政区)



ほそかわ りょうこ 氏
(籬野行政区)

こうなりました 皆さんからの 請願・陳情

■請願

○政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて政府米買い入れを求める請願 (採択)

請願者／栗石町農民組合

会長 太田 勲

国民の主食を安定的に供給するため、適正な備蓄水準を維持し、備蓄米の買い上げを直ちに実施するよう求めるものです。

■陳情

○肺炎球菌ワクチン公費助成についての陳情 (閉会中の継続審査)

陳情者／岩手県保険医協会

会長 箱石 勝見

高齢者への肺炎球菌による肺炎感染を予防するため、予防接種に助成を求めるものですが、このワクチンにはまだ国の承認がありません。

■発議

○政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて政府米買い入れを求める意見書の提出について (全会一致で可決)

請願を受け衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣に備蓄米の買い上げを直ちに実施するよう意見書を提出するものです。

臨時会

第3回

平成21年5月11日第3回臨時議会が開かれ、専決処分による条例改正と一般会計および特別会計補正予算に関する3件の承認を求められました。

■条 例

○雫石町税条例の一部改正（全会一致で承認）

21年3月、国の税制改正において、新たな住宅借入金特別税額控除の創設や上場株式等の配当所得等に係る課税の特例措置の追加等、21年度の評価替えにあたり土地に係る負担調整措置や国民健康保険の介護納付課税額の改正が行われ、それに伴い雫石町税条例の一部を改正したものの。

■補正予算

○平成20年度一般会計補正予算（第8号）（全会一致で承認）

補正前の額	補正額	計
85億5,220万7千円	△305万7千円	85億4,547万円

▶重度心身障害者医療費助成	△100万1千円
▶財政調整積立基金	792万4千円
▶障害者自立支援給付費	△463万1千円
▶観光振興緊急対策事業費	△440万円

○平成20年度介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）（全会一致で承認）

補正前の額	補正額	計
10億5,220万7千円	19万円	10億5,239万7千円

▶国庫補助金	19万円
--------	------

第4回

平成21年5月29日第4回臨時議会が開かれ、条例改正と財産取得に関する案件の2議案が当局より提案され原案通り可決しました。

○一般職給与に関する条例及び雫石町特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正（賛成多数で可決）

	平成21年6月
一般職期末手当	0.15ヵ月分減
勤勉手当	0.05ヵ月分減

	平成21年6月
特別職期末手当	0.15ヵ月分減

○財産の取得（21年12月1日納入）（全員一致で可決）

区分	購入金額	購入先
ロータリー除雪車	2,276万4千円	岩手いすゞ自動車(株)



質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明 議員

国保特別会計の現状は

町長／一般会計からの繰り入れにより運営

杉澤議員 当町の国民健康保険特別会計を見ると、歳出に見合う歳入の確保が厳しい状況にあるが、このような現状をどのように分析しているのか。

町長 本町の国保被保険者の医療費（歳出）は年々増加しており、平成 19 年度においては、1 人当たり医療費は、県内市町村平均より 52,698 円高い 445,427 円となっている。一方、国保税（歳入）の 1 人当たり課税額は、県内市町村平均より 6,567 円低い 68,267 円となっている。平成 19 年度・20 年度においては、国保特別会計の財源不足を補うため一般会計から多額の法定外繰り入れにより財政運営をしている状況であり、税率改正の必要性はあるものの、現在の経済情勢等を勘案すると、税率改正を行える状況にはないものと考えている。

国の平成 21 年度補正予算への対応は

杉澤議員 国は、追加経済対策のため 14 兆 6,987 億円の財政支出を盛り込んだ平成 21 年補正予算を成立させたが、当町ではこの補正予算に呼応して実施しようとしている事業は何か。

町長 現時点において、追加実施を予定している事業は、防災行政無線更新整備事業、歴史民俗資料館の環境整備事業、町内共通買物券事業などであるが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金として交付が見込まれ

る 2 億 465 万 5 千円について、6 月中に事業実施計画を策定し、追加経済対策に係る予算補正をしたいと考えている。また、ブロードバンド環境の整備に向け地域情報通信基盤整備推進交付金事業の導入を計画しており、事業費は約 12 億 2,000 万円と積算している。

杉澤議員 町内業者向けに、道路補修とか側溝の整備などのような小さな事業も行ってもらいたい。

町長 地元業者に仕事が回るような事業も十分検討しており、実施を予定している。

杉澤議員 地域活性化・生活対策臨時交付金で対応している南昌道路の崩落個所の復旧工事は工期（8 月 3 日まで）内に完成させていただきたい。

町長 新たに崩れた箇所の復旧工事については、6 月補正予算に計上しており、これも含めて工期内に完成するようにする。



復旧が進む南昌道路

質問者／
石亀 いしがめ
貢 みつぎ
議員

地方債の繰上償還を

町長／借換債を含め財源措置を検討

オンブズマン制度の創設につ いて

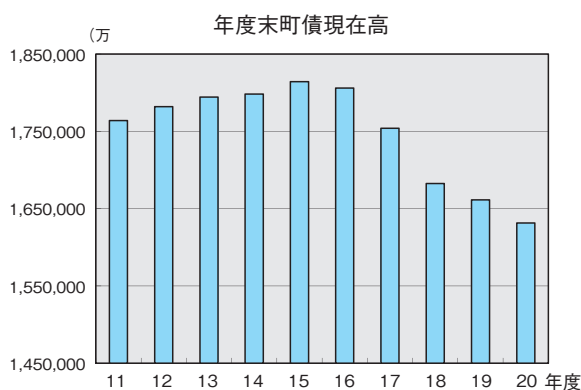
石亀議員 地方自治法に住民監査請求制度がある。住民の代理人として独立した第三者の立場で行政に対する苦情を受け付け、実情を調査し必要に応じ是正措置を勧告、迅速に解決を図るためにオンブズマン制度の創設をどう考えるか。

町長 制度が健全に運営されるためには住民の行政に対する関心に加え、住民と自治体職員の双方が制度に対する理解と、さらには、町村レベルでは適当な人材の確保が困難であるため、複数の町村を包括する広域的なオンブズマンの創設も視野に入れる必要がある。

制度は行政と住民の距離を縮める一つの手法であり官民協働のまちづくりを推進する本町にとっては有効な制度と考える。

石亀議員 地方債を議決する際の償還方法については、町財政の都合により据え置き期間および償還期間を短縮し、もしくは繰上償還または低利に借り換えることができるとされている。現在の低金利時代は高利の分を繰上償還し、将来の財政負担を軽減すべきと考える。平成4年5月までの利率5%以上の一般会計債および公営企業債については、平成19年度から21年度まで臨時特例措置で繰上償還が認められるがどう対応されるか。

町長 今年度、一般会計で2件約4,400万円の繰上償還を予定、旧簡保資金の5.5%および6.05%である。下水道特別会計で1件、1億8,600万円の繰上償還を予定、利率6.6%である。繰上償還の財源として借換債を発行、利率を2%と仮定すると一般会計で約540万円、下水道特別会計で約5,600万円、利子償還金が軽減できる見込みで補助金が免除され大変有利である。さらに、借換債を含め財源措置を検討し、将来の財源負担の軽減に努める。





質問者／
おおむらしょうとう
大村 昭東 議員

農業振興担当スタッフの応対接遇力は

産業振興課長／農家、住民の誤解がないように努める

大村議員 過去数年の雫石町農政の取り組みにかかるさまざまな方面の目線、観察、実像をどう捉え振興策を推進するのか。

町長 農業者、関係機関、団体と連携協調しながら具体策を講じる。

大村議員 農業農村振興担当課、農業指導センターの対応、接遇に農家は落胆しているがどう考えるのか。

産業振興課長 農家、住民の方から、そのような誤解のないよう努める。

新地域おこしについて

大村議員 仁沢瀬から橋場までの新旧国道46号沿いの将来像や都市計画の中央づくりの方針実現に向けて、農商工連携による新たな雇用創出を柱とする新地域おこしと、国道沿いデザイン、景観形成をどうする考えか。

町長 産業再生戦略会議での検討事項の具体化や、雫石駅銀河ステーション内の直売所を核として農林産物を町内のホテルや旅館などに提供し地産地消を進め、中心市街地活性化のために町おこしセンター（仮称）を整備する。国道46号沿いの景観形成については雫石町ふるさと景観条例に基づいて自然環境や景観保全に配慮する。

大村議員 農商工連携について、人材の育成や農業指導センターの基礎研究の取り組みは。

町長 商工会の方にふるさと雇用交付金

を活用し、2人の人員を配置し、特産品の開発とソフト面の活動を進めている。農業指導センターの果たす役割などについては、スタッフといろんな打ち合わせをしている。

大村議員 黒沢川地内の「やまとまきば」といって湯の町」という町のアピール塔はサビつき、上部の町章が脱落している。また、長山街道入口付近は「キラリ輝くしずくいし」にふさわしくない景観であるがどうするのか。

観光推進室長 町内の比較的大きな看板等について撤去なども含めて総合的に整備したい。

南畑コテージむらについて

大村議員 コテージむらの周辺地域を一体とした土地の効率利用や県関係施設の立地、都市と農村の交流拡大をどう考えているか。

町長 コテージむらと一体とした具体的計画はない。県関係の施設の立地についてはソフト的な事業展開に留まっている。都市農村の交流拡大は、鶯宿温泉やケッパレランドなど周辺地域との連携を検討したい。

大村議員 いわて銀河ファームプロジェクトは、コテージむらだけでなく矢櫃、南畑方面の活性化戦略と思うが、南昌連山の県立自然公園の支援体制は。

町長 さまざまな面で協力、応援していきたい。

質問者／
田中栄一 議員
たなかえいいち

特産品の振興について

町長／強化を急がねばならない課題

では、まだそれだけの力が無いというのが現実でもう少し経験を積んでから、次の段階での展開ということで検討してみたい。

人材育成について

田中議員 地方分権時代の到来により町の自立が求められている。職員一人一人の知識や、専門的能力により行政サービスや、自治体間において大きな格差が生じる。本町の人材育成の方策を問う。

町長 地方分権時代に対応して、住民が主体となる協働の町づくりを目指す。行政運営のあり方を変革し、職員は住民目線で思考、行動でき、広い視野を持ち行政課題に的確に対応する意識改革が必要。

「町人材マネジメントプラン」を策定し、事務事業を進める。さらに「職員提案制度」を実行し、職員自らが創意工夫することを奨励し、環境の変化や行政課題に的確に対応出来るよう育成に鋭意取り組みんでいく。

田中議員 雫石町の農業や観光などの閉塞感を打破するためには、今まさに特産品の開発にあるのは明白である。この先特産品の開発・研究・商品化ブランド化・流通経路の開発・販売促進が必要だと思うが、これを推進すべく助成を継続していくため「特産品基本条例」を制定し、特産品の振興と支援を図る必要があると考える。町長の見解は。

町長 特産品の開発・販売は産業振興を図る上で、重要な要素である。現在まで「中山間地域活性化推進事業」および「夢づくり総合支援事業」を導入してアイスクリームやソバ加工、パン、納豆、どぶろく等の開発を支援してきた。

農産物の高付加価値を目指した産地間競争は激しくなっており、特産品振興については強化を急がねばならない課題だと思う。今年度から町内の農畜産物を使った新たな加工品や特産品の開発、商品化にむけ具体的な方策を検討する。

東京にアンテナショップを

田中議員 景気低迷の中で東京にある「いわて銀河プラザ」が大変好調であると聞く。銀河プラザでは、雫石町の商品がどのくらい扱われているのか。また本町独自の常設店舗を設ける考えはないか。

町長 小岩井の製品だけである。直接的なアンテナショップについ



いわて銀河プラザでの雫石の物産と観光展



質問者／
うわの み よ じ
上野三四二 議員

軽トラ市と商店街の相乗効果は

町長／来場者が増加、趣旨が理解されてきた

上野議員 商店街活性化対策の一環として行われている、元祖軽トラ市は今年で5年目、昨年は2万人の集客があったと聞く。商店街にはどれだけの相乗効果があったと分析しているか。また、銀河ステーションにリニューアルオープンした産直事業やレストランは、駅前や周辺住民と連携し活性化することが重要である。どのように進めているか。

町長 平成17年から始まり今年で5年目、当初の来場者は12,800人であったが昨年8回開催し、延べ2万人の来場者、480台出店と過去最高を記録し、にぎわいを創出している。各店舗では、「市」に合わせて店舗セールを行うなど積極的に関わる姿勢が出て来場者、出店者、商店街など相互連携するようになった。数値では表せないが、趣旨が理解され効果が徐々に表れてきていると感じている。銀河ステーションで施設管理をしている(株)しずくいしの報告では、4月オープン以来、産直やレストラン利用者は、1日平均4月は305人、5月は228人で日も浅く検証は難しいが駅利用者、周辺住民や宿泊関係者の食材受注利用が高まっていくことを期待している。

農業再生をかけ、耕作放棄地の解消を

上野議員 本町農業再生をかけ振興を図るには、耕作放棄地、遊休農用地対策は極めて重要である。耕作放棄地は5ha強と公表されたが、そんなものではないはず、

どんな調査をしたか。今度制度化した復元事業に取り組む考えがあるか。

町長 農業委員会の現地調査では、田畑の放棄地は85.1haとなっている。農水省の調査基準によると、共済加入地、生産調整の低利用水田は除くことになり5.9haと公表された。耕作放棄地対策協議会を設置し再生利用緊急対策交付金の活用を受け、早い機会に解消に努めたい。

健康対策、新型インフルエンザ対策はどうか

上野議員 町民の病気発症や死亡率を見ると腸ガンなどのガン死亡率が最も多く、心疾患、脳血管障害などが多いと聞く、新しい診療所、保健センターでの健康づくりの特徴は何か。また本町は観光客も多い、新型インフルエンザ対策をどのようにしているか。

町長 診療所を中心に、保健・医療・福祉の連携を図り健康づくり教室、交流支援、乳幼児一時預かり支援なども行う。町民一人ひとりの健康台帳を作り、疾病予防に努める。新型インフルエンザ対策は、5月19日「雫石町新型インフルエンザ対策本部」を設置し、町独自の対策行動計画を作成し体制を整備している。窓口相談、ポスター、広報、ホームページ、災害無線など予防対策に努めている。公共施設には消毒剤の配備をしている。

質問者／
かとう ますみ
加藤眞純 議員



栗石版グリーン・ニュー・ディール政策を

町長／まず緊急的措置を優先

を設定するとともに、住民負担のあり方についてもあわせて検討していく。

加藤議員 今後限りなく続く人口減少に対し、下水道の利用者負担は大きくなり、また、下水道債も減ることはないと推測されるが、今後の方針と対策をうかがう。

町長 町総合計画に基づき、事業運営の目標を設定し、使用料見直しや水洗化の促進による収益増加、費用の節減や適切な人員配置による経営効率化により経営基盤の強化に取り組む、事業を推進していく。

加藤議員 現状の下水道の汚水処理事業は使用料で全額賄われてなく、下水道の受益を得ていない区域の町民も、下水道の倍以上もかかる合併浄化槽等の維持管理費を自己負担しながら、下水道事業の財政負担も負っている。こんな不条理なことは速やかに解消するべきではないか。

町長 一般会計からの繰り入れがないよう料金体系の整備検討をしているが、今は厳しい時代であるので、みんなで痛みを分かち合い、理解しながら支えてもらい料金体系を維持したい。

加藤議員 浄化槽を町が設置主体にするか、PFI方式にすれば解消されることなので検討願いたい。

加藤議員 バラマキや既に計画されている事業の単なる前倒しではなどと評価されないよう、再生可能エネルギーや自然保護などを積極的に進めることにより、経済回復や雇用創出などを図ることと、それから地球温暖化対策との両立をねらう、いわゆる、栗石版グリーン・ニュー・ディール政策を打ち出す考えはないか。

町長 まず緊急的な措置としては人々の需要を刺激し、停滞している経済の流れを早期に活性化するような対策が必要であり、再生可能エネルギーの導入拡大や地球温暖化対策は、当面の危機的な状況への対策とは切り離して、中期的に必要な取り組みとして考えてもよいのではと考えている。

加藤議員 学校などの公共施設に太陽光発電設備の設置をしてはどうか。

町長 町営体育館に設置予定、学校他には順次設置に向け検討していく。

排水処理の今後の政策は

加藤議員 下水道、農業集落排水、合併浄化槽は整備方法は異なっても、住民に見れば同じ生活排水処理サービスであることから、他の公益サービス同様、負担は同程度とするべきではないか。

町長 平成16年度に策定した汚水処理整備計画を今年度に見直し、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえた効率的な事業方法を選定し、整備目標



質問者／
いとうてつお
伊藤哲夫 議員

子どもの就学援助の今後は

町長／国庫補助の復活要望をしていく

伊藤議員 就学援助事業費が縮小され子供の貧困状況増加問題があると言われていたが、本町の場合どのような対応をされているか。

町長 国の三位一体の改革により平成17年3月に就学困難な児童および生徒に係る就学奨励についての、国の援助に関する法律が改正となり、準要保護認定児童生徒のみとなっている。認定された児童生徒に対しては、医療費、学用品、新入学用品費、給食費等を援助しているが、経済状況の悪化による企業の倒産、リストラや母子家庭の増加等により、準要保護の認定する児童生徒が年々増加傾向にあり、平成12年度(10年前)は要保護4名、準要保護45名で、全体児童生徒の2.4%であったが、平成21年度には要保護7名、準要保護92名になり、全体児童生徒数の7%となっており現状での経済情勢を勘案した場合、認定者は増加が懸念され町財政を圧迫すると考えている。義務教育の機会均等を保護することは国の責務であり、町としては、準要保護児童生徒に対し、国庫補助金の廃止以降、毎年、岩手県市町村教育委員会協議会を通して国に対し準要保護の国庫補助金の復活要望しており、今後も継続して要望していく。

経済対策について

伊藤議員 住宅リフォーム事業費助成について(個人住宅を改修、リフォームを町内業者に発注し工事費の一定額を町が補助する)、町民と業者と共に潤い地域経済の活性化を計る取り組みを要求してきたが、対応はどのようなになっているか。

町長 住宅リフォームに対しての助成制度について居住環境整備の促進や町内の住宅関連産業及び商業を中心として地域経済の活性化に有効な手段の一つと認識しているところであり、県内の事例も5自治体が実施されている。本町における助成金に関する取り組み状況については、他市町村の事例や制度内容を調査しながら、助成対象者の定義、対象となる住宅の条件と工事内容の整理、助成金の限度額や交付方法の検討を進めている。現在実施している高齢者、障害者を対象とした住宅改修事業や木造住宅耐震改修事業等の住宅リフォームに関連した既存事業との関わり、助成金の重複交付の防止など整合を図りながら、本年度下期以降で9月補正で助成制度に向けて検討を進めている。

雫石町議会 議会構成（委員会等名簿）

平成21年7月1日現在

平成19年5月11日選挙

議長 平 子 忠 雄

総務常任委員会

平成21年5月11日構成

職 名	氏 名
委 員 長	前 田 隆 雄
副 委 員 長	田 中 栄 一
委 員	煙 山 惣右衛門
委 員	横 欠 君 夫
委 員	坂 下 栄 一
委 員	川 口 一 男
【定数=7人】	【現員=6人】

教育民生常任委員会

平成21年5月11日構成

職 名	氏 名
委 員 長	石 亀 貢
副 委 員 長	谷 地 善 和
委 員	伊 藤 哲 夫
委 員	杉 田 和 正
委 員	坊屋鋪 俊 一
委 員	杉 澤 敏 明
【定数=7人】	【現員=6人】

産業建設常任委員会

平成21年5月11日構成

職 名	氏 名
委 員 長	猿 子 恵 久
副 委 員 長	上 野 三四二
委 員	大 村 昭 東
委 員	村 田 厚 生
委 員	石 山 仁
委 員	加 藤 眞 純
【定数=6人】	【現員=6人】

議会広報編集特別委員会

平成21年5月11日構成

職 名	氏 名
委 員 長	谷 地 善 和
副 委 員 長	石 山 仁
委 員	田 中 栄 一
委 員	村 田 厚 生
委 員	川 口 一 男
委 員	杉 澤 敏 明
委 員	加 藤 眞 純
【定数=7人】	【現員=7人】

平成19年6月8日選挙

副議長 煙 山 惣右衛門

議会運営委員会

平成21年5月11日構成

職 名	氏 名
委 員 長	横 欠 君 夫
副 委 員 長	坊屋鋪 俊 一
委 員	煙 山 惣右衛門
委 員	上 野 三四二
委 員	石 亀 貢
委 員	猿 子 恵 久
委 員	前 田 隆 雄
【定数=7人】	【現員=7人】

政務調査会

平成19年5月9日構成

職 名	氏 名
会 長	杉 田 和 正
副 会 長	伊 藤 哲 夫

雫石町議会互助会

平成19年5月9日構成

職 名	氏 名
会 長	議 長
副 会 長	副 議 長
世 話 人	常任委員長3名及び 政 務 調 査 会 長

広域事務組合

職 名	氏 名
盛岡地区衛生 処理組合議会議員	煙 山 惣右衛門 杉 田 和 正 (平成19年5月11日選挙)
盛岡地区広域行政 事務組合議会議員	村 田 厚 生 (平成19年5月11日選挙)

医療広域連合

職 名	氏 名
岩手県後期高齢者 医療広域連合議会議員	平 子 忠 雄 (平成21年3月17日選挙)

町の審議会等委員

職 名	氏 名
雫石町都市計画審議会	大 村 昭 東 石 山 仁 川 口 一 男 (都市計画法第77条の2) (任期：21.7.1～23.6.30)
雫石町民生委員推薦会 (民生委員法第8条第2項第1号) 昭和37年厚生省社会局長、 児童局長通知により議会の 厚生常任委員が適当	石 亀 貢 谷 地 善 和 (任期：21.6.15～23.6.30)

議選監査委員

職 名	氏 名
監査委員 (地方自治法第196条第1項)	坂 下 栄 一 (任期：19.5.11～23.5.8)

常任委員会●活動報告

調査実施日／平成21年6月8日
調査項目／所管事務調査、現地調査

合同

6月8日、御所保育園の民営化状況調査と七ツ森の生森山山頂に建設中の地上デジタル放送に係るアンテナ設置状況調査、また頂上より旧農業者大学校落葉果樹農業研修所の位置を調査しました。雫石健康センター（仮称）建設状況調査を行い、午後、補正予算に計上されている鶯宿温泉貯槽分湯施設の状況調査をおこないました。



鶯宿温泉貯槽分湯施設



雫石健康センター建設現場



生森山山頂の地上デジタル放送のアンテナ工事現場

調査実施日／平成21年6月8日
調査項目／所管事務調査

総務

総務常任委員会（前田隆雄委員長）は一般国道46号改良整備について地域整備課長より現在までの進ちょく状況の説明を受けました。

- ・平成20年10月28日に七ツ森地区道路懇談会が開催された。出席者は地域住民、学識経験者、町から地域整備課長、社会教育課長、国から岩手河川国道事務所が参加しました。
- ・現在の生森カーブを南側に移設する。
- ・道路延長810m、幅員13.5m、2車線で両側に歩道設置、簡易駐車場10台分くらい設ける。
- ・測量を7月31日より行い、その後用地買収を行うとのことでした。

なお、議会閉会中の継続調査事項は次のとおりです。

- 1 自立する町づくりについて
（景観に配慮した町づくり）



改良が始まる国道46号線七ツ森地区のカーブ

調査実施日／平成21年5月29日、6月8日
調査項目／教育委員との懇談会、所管事務調査

教育民生

教育民生常任委員会（石亀貢委員長）は、5月29日に町教育委員との教育行政懇談会を行い、次の課題など多岐にわたり意見交換を行いました。

- ・小学校適正配置の検討－類似団体の取り組みを参考に検討を進めるべきなど。
- ・スクールバスの運行－民宿のバス活用など。
- ・図書館運営－休館日が祝日の場合は翌日にできないかなど。
- ・親学－親にも学んでもらい、話し合う家族になってもらうなど。

6月8日には、所管事務調査を行い、学校教育課から雫石中学校の現状について、今年度に入り、教職員の体制が一新され、先生方が一丸となって指導に当たっており、授業に落ち着きを取り戻しているとの説明を受けました。

また、福祉課から介護保険の現状について説明を受けました。4月から介護報酬改定が行われたが、介護保険給付額を見ると3月利用分と同程度で、利用回数を減らす等の変化は現れていないとのことでありました。

さらに、肺炎球菌ワクチン公費助成についての陳情審査を行い、継続審査とすることとしました。

なお、閉会中の継続調査事項は、次の通りです。

- 1 学校課題について
- 2 医療、福祉について

調査実施日／平成21年6月8日
調査項目／所管事務調査

産業建設

産業建設常任委員会（猿子恵久委員長）は、新メンバーになって第1回目の所管事務調査を行いました。

6月8日、経営推進課より「産業再生戦略会議のあらまし」の説明を受けました。

また、「政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて政府米買い入れを求める」請願を審査し採択とした。その概要は、政府は、備蓄米の適正在庫は100万トンとし、売れた量だけ買い入れるのがルールとしてきたが、今年6月末に100万トンの在庫を維持するためには12万トンの買い入れが必要な状況となっている。国民の主食を安定的に供給するため適正な備蓄の確保と、稲作農業経営を守るための請願である。

6月11日本会議において、この請願に係る意見書を国会及び関係省庁に提出するための議員発議が可決されました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次の通りです。

- 1 農業・観光の振興策について
- 2 特産品の開発について



米の安定供給は町にとっても重要な課題

在京町友会との交流会に参加して

平成 21 年 6 月 20 日、「ライオン銀座クラシックホール」において、毎年恒例となっている交流会に議員 5 名が参加しました。また、町当局から町長他 4 名、階衆議院議員、大宮県議会議員、加藤商工会会長、松田しずくしいし物産振興会会長、中川愛子さん、小屋場幸子さんと計 16 名が参加しました。同じ銀座の歌舞伎座の向かいの「いわて銀河プラザ」で雫石の物産と観光展が開催されており、雫石の知っている方々が一生懸命接客している姿を見て、東京銀座と田舎雫石がマッチングしている現実に驚きを感じました。在京町友会会員と私たちと約 70 名程の交流会であり、賑やかに進行。愛子おぼちゃんの「方言かるた」などを在京の方々に送ったり、各地区出身で昔の思い出

を話したり、また、在京の皆さんがこの不景気で故郷を案じる心をしみじみと感じました。10 代より上京し幾多の苦難を乗り越え、現在活躍している皆さんに敬意を抱きました。「雫石万歳」を三唱しお開きとなりました。



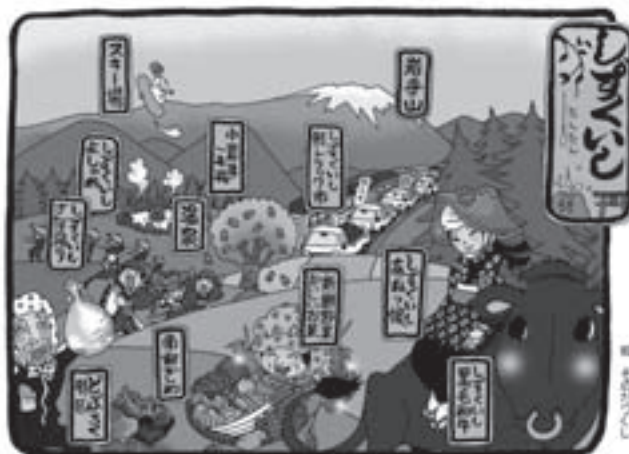
開会のあいさつをする坂本会長



交流を深める議員



よしやれ踊りでさらに盛り上がりました



2009
いわて
キラリ*輝く
雫石の物産と観光展

☆会 期:平成 21 年 6 月 20 日(土)～21 日(日) 10:30～19:00(日曜日 16:00)
☆会 場:いわて銀河プラザ 東京都中央区銀座 5 丁目 15-1 南海ビル 1F TEL03-3524-8282
☆主 催:雫 石 町・雫石商工会
☆後 援:(社)しずくしいし観光協会・JA 新いわて南部営業経済センター・しずくしいし物産振興会・在京雫石町友会

是々非々・ 新たな視点で挑戦

うわの みよじ 議員
(69歳・無所属)



県美術展に向け、大作に挑む

「慌てず・休まず・おごらず・あきらめず」の気持ちで、議員活動に専職・専念することを信条としています。新たな視点で「元気のでる町の創造」「みんなが誇れる町の文化」「足腰の強い町の自立」を目標に掲げ挑戦しています。是々非々の強い信念で、みんなの幸せ、地域の発展のため頑張ります。

●プロフィール

平成15年に初当選し現在2期目。産業建設常任委員、教育民生常任副委員長、児童民生委員推薦委員（議会選出）、議会広報編集特別委員長を歴任し、現在は、議会運営委員、産業建設常任副委員長。

家族：平成9年妻と死別以来一人暮らし。長男夫婦、二人の孫とウィークファミリーで別住まい。あだ名は「お絵描きマラソンおじさん」。趣味特技は絵画（特に油絵）、町民劇場出演、陸上競技、武術、スキーなど。大村生まれ、榊沢行政区在住。

豊かな自然と資源を 活かす町づくりを

むらた あつお 議員
(61歳・農業・無所属)



目に入れても痛くない孫と

先行き不透明な社会情勢のなか、ややもすると批判と愚痴のことは、発言が多くなってきている気がします。そうであってはならない、今こそみんなで知恵と汗を出し元気な町民になり、さらなる活力ある町づくりに頑張り、次世代へバトンタッチできるように皆さんと一緒に努力してまいります。

●プロフィール

平成15年に初当選し現在2期目。教育民生常任委員を歴任し、現在は産業建設常任委員、議会広報編集特別委員、盛岡地区広域行政事務組合議員、大村地区自主防災福祉振興会長。

家族：妻、長男（早く嫁を）、母、大村行政区在住。



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



むらた とおる
村田 徹さん
(47歳・大村行政区)



いずみさわ さかえ
泉澤 栄さん
(46歳・極楽野行政区)



よこがけ
横欠 レイ子さん
(56歳・横欠行政区)

町議会に 期待すること

住むには 良いところ

雫石町大村地区に移り住み14年が経ちました。1歳だった娘も高校生。大村でも使えるようになった携帯電話を持って、日々メールにいそしんでいます。今では、ほとんどの高校生が携帯電話持っていますが、これほどの変化を誰が予想したでしょう。

大村小学校の児童と一緒に山祇神楽^{やまつみかぐら}を練習しています。350年以上の歴史を持つといわれる神楽です。舞子や太鼓・笛の奏者が変わっても、山祇神楽の心は変わることはありません。

変わるもの、変わらないもの。変えなければならないこと、変えてはならないこと。私たち雫石町民はその判断を町議会に委ねています。議員の方々には、曇りの無い眼でその判断をしてくださいますようお願いいたします。

時おり、「東京から雫石に来て大変じゃないか」と質問されることがあります。

「住むには、良い土地ですよ」と笑顔で答えています……。

最初に、昨年のリーマンショックに始まる世界的な金融危機の影響が日々の生活でも実感されます。雫石町財政は「いわゆる第3セクター」を含めて、健全財政となっているでしょうか。実態の開示と今後の方向性をわかりやすく示していただきたいと思います。

次に、雫石の産業は、農業、商業、観光が中心ととらえております。

産業振興として企業誘致は避けられないものと個人的に思いますが、雇用創出の効果、誘致した場所の自然環境・景観の影響およびその住民の暮らしのそれぞれが長期的観点でバランスのとれた施策を望みます。

最後に、行政サービスについて住民として何をしてもらえるのかといった受身でいますが、議会として住民の暮らしの実態を実際目で見ただき、町、住民および企業のお互いが連携を取れる将来像を構築し、実現に努力してもらえよう切に思います。

快適な インターネット環境を

日頃の議員の方々のご苦勞に感謝申し上げます。

私は、議会傍聴を2回体験させていただきました。議場に入場される、議員の方々関係者の方々の、さっそうとした態度に感動いたしました。質問に対し、納得のいく回答、私も身を乗り出して聞き入ってしまいました。

町長は、特産品の販路拡大で、ネット販売の構築を計画しているようですが、町内どこでも光通信ができるよう、設備を整えてほしいと思います。町内には、高齢者が多く、無縁な方も多い、気軽にインターネットが楽しめる環境も必要と思います。

最後に、雫石町は、農業の町です。イベントの1つに5月に開催されている、岩手山ろくファミリーマラソンですが、ちょうど田植え時期なので、農家の方々はお手伝いしたくてもできない状態です。時期を変えていただく訳にはいきませんかでしょうか。

議員の皆さま方のこれからのご活躍を期待しております。また、町の活性化はとても大切ですが、要である役場内の雰囲気をも明るくしてほしいと思います。

ふるさとへの便り— 36



たかはし みつたけ
在京雫石町友会 会員 高橋 三丈さん

今に活きる学生時代の経験

東京に出て早 40 年、ふる里の山野はいつまでも忘れることはありません。ついつい若いつもりでいましたが、いい年になりました。

雫石の南に位置し、南昌山を越えれば矢巾、安庭小学校の校歌にも歌われる「清流矢櫃川」の上流に 2 3 軒の集落があり、その昔は 40～50 人前後の子供たちが通学に、川遊びにその賑やかさが里の山々にこだましていた事を覚えています。

昭和 42 年、盛岡商業に入学して学生寮（桜健寮）に入寮しました。6 人兄弟の末っ子で甘やかされて何不自由なく育った自分に最初の試練がありました。理不尽なことも多々ある小軍隊のようであった団体生活の厳しい規律、上下関係、言葉遣い、心遣い、時間管理、掃除洗濯など、真冬の早朝の校庭の草取りは手がかじかみ水道水が温かいと感じました。本当につらかったし非常に嫌だったのですが、若く柔軟な時であったので対応ができたのではないかと思います。たぶん、自宅通学で

は味わえない、ある意味大きな成長をさせていただいたものと思っており、その後の社会生活に重要な影響を与える教育がなされたのだと本当に感謝しております。

そして太陽銀行（現三井住友銀行）に入行し、最初の支店が新築となり田舎者が 20 歳から都会の営業に出されたのですが、その後 10 年間新店舗開設要員として新宿副都心、仙台と自分自身ではそれほどできないのに脚光の浴びるところを走っていました。

平成 8 年に銀行を定年退職し、映像エンターテインメント事業の会社で今も頑張っております。まったく畑違いのところでも何とかできるのも柔軟な今までの教えがあったものと思っております。

私は昔から郷土の集まりにできるだけ出るようにしております。同級生の皆さん、郷土の諸先輩、後輩の皆さん是非、町友会に参加して後世に継承していきましょう。



2006年、マウイ島カパルア・プランテーションUSPGAメルセデスオープンにて

高橋 三丈さんプロフィール

昭和27年生まれ、御所・矢櫃出身。 安庭小学校、御所中学校、昭和45年盛岡商業高校卒
太陽銀行（現三井住友銀行）わらび、新宿副都心、仙台、日本橋、新橋、本部、葛飾、さくら抵当証券出向を経て平成8年定年退職。現在は(株)Softgarage（ソフトガレージ）勤務。映像（劇場・テレビ）制作・出版製造販売送信作品は千数百タイトルに、1997年カンヌ映画祭グランプリ・日本アカデミー賞受賞作品多数。

雫石町へようこそ

お嫁さん

お婿さん



あおい
結婚式にて妻の 葵さんと

ご縁があり、他の市町村から嫁いできた「お嫁さん」または、選ばれてきた「お婿さん」が登場します。

てつえい
日時 哲英さん (28歳 福島県田村市出身)
(旧姓：三浦)

Q-お二人の馴れ初めは？

-阿部宗徹老大師様(京都花園大学学長、静岡臨済僧堂師家)のお導きです。

Q-雫石で暮らしてみているいかがですか？

-地元の福島と似ていて、自然が多く食も豊かでとても住み心地がいいです。特に町の皆様お元気で明るく、優しくしていただいて、とても嬉しいです。

Q-町へ望むことは？

-素敵で輝く雫石のために、これからもぜひ頑張ってください。

Q-お子さんは？

-3人くらい欲しいですね。

議会の主な動き 5～7月

5月	6月	7月
3日 しずくいし軽トラック市開会式	1日 第71回国民体育大会岩手県準備委員会第3回総会	3日 八幡平直轄砂防同盟会総会
7日 議会広報編集特別委員会	1日 駒ヶ岳山開き	6～8日 産業建設常任委員会行政視察(北海道)
11日 臨時議会	1～2日 八幡平直轄砂防同盟会第1回要望会	7日 全国温泉集中管理団体協議会総会
15日 政務調査会	2日 県議長会臨時総会	8～10日 教育民生常任委員会行政視察(新潟県)
16日 雫石中体育祭	5～11日 議会定例会	9日 県議長会第1回政務調査会並びに政務調査研修会
17日 八幡平直轄砂防同盟会意見交換会	6日 フラワーロード植栽	13～15日 総務常任委員会行政視察(山形県)
22日 雫石商工会総会	15日 政務調査会	16日 政務調査会
24日 町地域コミュニティ組織連絡協議会定期総会	20日 第31回在京雫石町友会交流会	31日 雫石東八幡平奥地産業開発道路協議会総会
25日 鶯宿温泉観光協会定例総会	7月	
27日 町村議会議員研修会	1日 岩手山山開き	
	2日 臨時議会	

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(4～6月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
4	0件 ー	4件 2万円
5	0件 ー	6件 3万1千円
6	0件 ー	2件 8千円
総計(4月～6月)		

■編集デスク

今号より新企画として、本町にご縁がありほかの市町村から嫁いできたお嫁さん、選ばれてきたお婿さんをご紹介します。ご意見を伺うことで雫石との違いが浮き彫りとなり、まちづくりへの参考、あるいは本町の良さの再発見につながるものと考えます。

また、定例会終了後なるべく早く議会だよりを皆様にお届けするよう編集委員一同頑張ってお参ります。ちなみに本号は28日目で発行することが出来ました。

(編集委員長 谷地 善和)

●今号の表紙/本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子供たちの様子を紹介。今回は、「雫石小学校」に通う生徒たちの笑顔です。